

住まいる小町 スタッフインタビュー

プレハブ建築協会「住まいる小町」活動に日頃からご協力をいただいている各社の住まいる小町の方々に、お仕事の内容や体験についてインタビューをしました。

♪インタビューにご協力いただいたみなさん♪

- ・旭化成ホームズ(株) 高橋 智子さん
- ・積水化学工業(株) 今井 雅子さん
- ・積水ハウス(株) 石本 紗代子さん
- ・大和ハウス工業(株) 飯田 こずえさん
- ・ミサワホーム(株) 余田 美智子さん

お1人お1人が日々考えていることや、その思い、そしてプライベートまでいろいろと教えていただきました。是非、最後までご覧ください。



高橋 智子さん
旭化成ホームズ(株)
東京オーナーサービス部
東京南ホームサービス科

click

【経歴】

工事担当、技術担当を経験して、ホームサービス担当へ転属、3年目

【一言・エピソード】

『おうちで、ダイニングでお酒を飲みながら、大工のだんなさまと「おうちで改善提案」してます。』



今井 雅子さん
セキスイファミエス中部(株)
岡崎支店 品質保証室

click

【経歴】

前職の介護のお仕事から、15年前にこのお仕事に転職。

【一言・エピソード】

友達のように接するお客様とお食事に誘われたり、USJに行ったり、そんなやり取りをととても楽しく感じています。



石本 紗代子様さん

積水ハウス(株)
愛知東カスタマーセンター
岡崎オフィス

click

【経歴】

前職はリフォーム会社で営業や現場管理を経験されて、転職。1年目

【一言・エピソード】

「お悩みを伺い、解決する為に自分が動いて、お客様に喜んでいただく事に、とてもやりがいを感じています

飯田 こずえさん

大和ハウス工業(株)
住宅お客様相談室
川崎センター

click



【経歴】

前職はケーキ屋さん。ポリテクセンターの訓練を受けて転職。3年目

【一言・エピソード】

住宅のアフターサービスは60年間続くことを知り、一生続けられる仕事だなあと思い、この仕事を選びました。



余田 美智子さん

ミサワホーム(株)
埼玉・群馬CS推進部
埼玉お客様センター

click

【経歴】

デパートで接客を4年弱、その後事務をして11年前に転職。ミサワH女性ホームドクターの第1号。

【一言・エピソード】

色々なお客様にお会いして、新しいことを常に吸収して自分自身をアップデート

していく必要のある仕事です。ですので、自分の成長が感じられて、いつまでも元気で若くられる仕事だと思っています。

◆住まいる小町を「もっと詳しく知りたい」という方のために、「住まいる小町通信」を発行(不定期)しております。

◆バックナンバーは、プレハブ建築協会のホームページからご覧いただくことができます。

【プレハブ建築協会ホームページ(住宅部会)】

<https://www.purekyo.or.jp/bukai/jyutaku/index.html>

【住まいる小町活動】

https://www.purekyo.or.jp/bukai/jyutaku/activity/smile_komachi/index.html

※スマートフォンから、二次元バーコードをご利用の場合はコチラ



高橋 智子さん

旭化成ホームズ(株) 東京オーナーサービス部 東京南ホームサービス科



【経歴】

工事担当(1年6ヶ月)→ 育休 → 技術一課(技術スタッフ 断熱・木工・界壁・外構担当、社会保険加入促進、太陽光申請)→ 工事担当(1年3か月)→ ホームサービス担当(約2年)→ 育休 → ホームサービス担当(現在6ヶ月)

普段気を付けていること、心掛けていること

- ・点検担当になってからは、工事担当をしていた時に比べると、お客様に伝わりやすいように考えて表現や言い回しを気にして話すようになりました。お客様に伝えたい事を「わかりやすく端的に、結論から先に伝える」ようにしています。
- ・不具合があった際には、小手先でいい加減に直すようなことはせずに、起こった不具合の原因をきちんと追究して根本的に直すようにしています。さらに、二度と同じ不具合が発生しないように、本部への改善提案をしています。

女性のホームドクターをしていて、お客様に喜ばれたこと

- ・奥様がおひとりで点検を受けられる時や、単身の女性の方から喜ばれることが多いです。女性の点検担当だと気兼ねなく話せるというのが一番の理由だと思いますが、最近はタバコのおいなどに敏感なお客様もいらっしゃるので、そういう方にご指名いただくこともあります。
- ・先日も5年点検のご案内を連絡したところ、「2年点検を担当して下さった女性の方をお願いしたい」と言われて、覚えていただけたことがうれしかったです。子育てと家事の経験談を交えてお手入れの仕方をお伝えするので、奥様にも伝わりやすい気がします。そういう意味ではお客様に好印象に感じていただけたのかもしれない。
- ・ご高齢のお客様からは、「今の時代は女性も点検するのね」と感心されることもあります。お渡しした名刺に書かれた資格(1級施工管理技士)をご覧になり、「頑張ってるね」と褒められました(笑)

クレームの対処で気を付けていること

- ・クレームも様々ですが、解決するまでのストーリーが描けることが大事で、終わりがあることをイメージすることで自分を安心させることができる、これが一番ストレスを作らない方法だと思っています。そのためには、上司や先輩のアドバイスをいただける環境があることがありがたいと思っています。
- ・点検でわかった不具合があったら、家でご主人(大工)に「あなたならどうやって施工する?」というように相談しています。なので、ダイニングでお酒を飲みながら「おうちで改善提案」しています(笑)

子育てや家事との両立、ワークライフ・バランス

・勤務地と自宅との距離が近いこと、さらに点検で伺うお客様宅は遠くても車で30分位の距離というのが何よりもありがたいです。仕事内容も点検だけにしていただいて、時短勤務(16時まで)にもなっているので、1日2件程度の点検業務です。ですので、「午前の点検と午後の点検の合間の昼休憩の時間を使って家に寄って家事をする」なんてこともできます！

・ご主人が大工さんなので仕事のこともよく理解してくれるし、家事や子供の送り迎えも分担できるので、外飲みもできてます(笑) 仕事のストレスなどは、職場のメンバーと一緒にお酒飲んでれば、忘れちゃいます(笑)

・工事担当の時は子供の運動会の最中に携帯電話に出てしまい、仕事を優先したことで子供を悲しい気持ちにさせてしまったことがありました。今は自分の強い意志として、「子供を優先させる」ことを周りの人に伝えるようにしています。



プライベートな時間の過ごし方

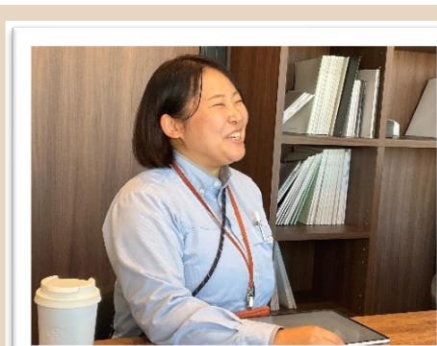
・子供中心の生活にシフトして、仕事は良い意味で二の次にしています。水日休みなので、月1回水曜日は下の子を保育園に預けて、午前中は自分一人の時間を作って息抜きできるようにしています。日曜日は家族で過ごす時間にしています。

・1人で過ごす時間はあまりないですが、あれば自分のメンテナンス(はり、マッサージ、まつエク等)をするか、家族が寝てからネットサーフィンしたりしています。

仕事で困ったことや失敗したこと

・昔の仕様を理解していないことで、お客様からの質問にその場で答えられないことがありました。
・背が低いので、高いところでの作業が難しい。力が無いので固くなったビスを緩めたりすることができずに、後日業者をお願いすることになりました。本当はその場で解決したいのに、解決ができないのが悔しかったです。

今後の目標や将来の夢



・子供が小さいうちは、今の仕事を粛々とやって、CS評価の高い担当になれるようにホームサービス担当として成長したいです。工事や設計の品質が良くなるように、改善活動を積極的に取り組みたいと思います。
・子供が大きくなったら、資格取得に専念して、将来的には課長を目指します。



今井 雅子さん

セキスイファミエス中部(株) 岡崎支店 品質保証室



【経歴など】

前職は介護の仕事に携わっており、ヘルパーの資格も取って、1年位やっていました。人と接する仕事が好きで、今の仕事にもそれが活かしていると感じています。15年前、建築の世界に入りたいとこの仕事へ転職し、シングルマザーで3人の息子(現在は3人とも20代)を育てながら仕事を続けてきました。

女性のホームドクターに対するお客様の反応

・最初のご主人が同席する機会が多いですが、女性がホームドクターと分かるとそのあとの点検では安心されて奥様だけが立ち合いされるケースが多くなります。おかげで平日点検のアポが取りやすくなりました。また、安心されるとこちらからの電話も取ってくれるようになったので、今は点検のご案内はがきに、点検を担当する私の顔写真入りの案内を送っています。

この仕事で苦労したこと

・お客様の話をじっくり聴くとお客様の気持ちも分かることが多いので、最終的には、お客様を理解して、お客様に自分を信頼してこちらを向いてもらえればいいと思っています。元々建築のプロでもない素人の主婦ですから、お客様の話を聴くということに抵抗が無かったのかもしれないです。逆にクレームからお付き合いが始まったお客様とは、かえって仲良くなることが多いです。

ストレスの解消方法

・子供が小さかった頃は子供(3人)とわいわいやっていることでも解消できたのかもしれないです。現在は犬を5匹飼っていて、その犬たちに囲まれているととても癒されます。1匹の犬は介護が必要なんですが、人も動物もお世話をすることが好きです。・色々なことがありますが、何でも「楽しもう!」と心掛けています。

子育てと仕事の両立

・子供は3人いますが、仕事を優先していることを子供も分かっているのか、自立して育っていったと思っています。3人で協力し合ってお飯も掃除も洗濯も弁当作りも小さい時からやらせていました。中々学校行事にも出れないこともありましたが、きっと分かってくれていたと思います。・この仕事はスケジュールを自分で決めやすいので子育てと両立しやすいと思います。

仕事をしてきた中でのエピソード

・私の息子が小学校の教師をしていて、その生徒の一人が私が仲良くなったお客様のお子さんだったということがありました。授業参観で息子の姿を見に行った時に出会ってびっくりされたことがありました。

・お客様と接することはとても楽しいです。同じ地域に住んでいるので、顔なじみになる方もいます。スーパーでバッタリお会いしてお互いに挨拶したりして、食事に誘われたり、USJに一緒に行ったりすることもあり、まるで友達のように接していただくお客様もいらっっしゃいます。

・今5匹の犬を飼っており、内2匹はお客様からもらったトイプードルなんです。お客様から子犬がもうすぐ生まれると連絡があり見に行ったんですが、その後、その子犬をもらい受けて私が「育てる」ことになったんです。お客様からは「点検の時には連れてきて」と言われるので、点検の時には一緒に連れて行って親犬に逢わせています。まるで里帰りですね(笑)

・築10年で火事になってしまったお客様から、真っ先に今井さん宛に電話がかかってきたんです。こんなことは珍しく、今井さんはとても信頼されているのだなと感じました。(松田課長)



この仕事をしようと考えられている方へのメッセージ

・「この仕事はクレームが多く、困らせられるのもお客様ですが、喜ばせてくれるのもお客様です。とてもやりがいがあり素晴らしい仕事なのでぜひ来てください」

住まいる小町活動について

・入社当時、職場の周りの人には大変良くしてもらって、仕事を教えてくれたり協力はしてもらえるのですが、やはり男性とは考え方も違うので胸の内を相談するということではできず、自分の中で解消してきました。今はこの活動があるからいいですね。

以前の住まいる小町オフサイトミーティングで何名かと意気投合して、グループLINEを作っています。そのグループLINEに「明日、クレームに行ってくるんだ」ということを書き込むと、みんなから「行ってらっしゃい」と返事があったりして、とても気持ちが安心します。他にもいろいろと情報交換をしており、とてもいい機会であったと思っていますし、これからも大切にしていきたいです。



・ある時、点検をしていたら「大きくなったらセキスイのお姉さんのような仕事をしたい」とお客様の小さい子供から言われたことがある。とても嬉しく、そんなイメージを持ってもらえるような雰囲気、この「住まいる小町」でつくっていただくと有難いです。

・アフターサービスの仕事は中々イメージしづらい仕事だと思うので、ホームドクターという新しい位置づけが大切だと思います。(松田課長)

石本 紗代子さん

積水ハウス(株) 愛知東カスタマーズセンター 岡崎オフィス



【経歴など】

・前職ではリフォーム関係の仕事をしていて、営業も現場管理もしていました。新しい環境でチャレンジしたいと思って転職先を探した時に、このホームドクターの仕事を見つけて、もしかしたら今まで以上にやりがいを感じられる仕事なのではないかと思い、この仕事を選びました。

ホームドクターとして、大切にしていること

・相談していただいたからにはお困りになられていることを解決したいと思うので、お客様に寄り添ってお話を丁寧に聴くことと、こちら側の誠意が伝わるように目を見て話すということです。

あと、お客様に言葉が伝わりやすいようにゆっくりと落ち着いて話すように心がけています。実は自分が緊張しやすいので、自分を落ち着かせるためでもあるんですけどね(笑)

女性として感じるホームドクターの難しさ

・背が低いので高いところが届かないとか、重いものを持ってないとか、そういった物理的なことで不安がありました。実際に引戸や引き寄せ金具の交換の際には、高さがあり重い扉を持ち上げなければならないんですが、もし作業中にふらついてぶついたり、傷をつけてしまったらと思う手を出せずに、後日対応になってしまうこともあります。

こればかりは努力で埋め合わせできるものではないのですが、その代わりに、次の準備を手早く行ってお客様へすぐに連絡するとか、お直しの仕方をきちんとした知識を持って説明するという事で、その差を埋められるように頑張っています。

ホームドクターとして心掛けていること

・お客様の要望や温度感、現場の状況を前任者や上司に相談し、お客様としてもご納得いただける方向性を提案して対処しています。お客様は「直す」といわれると、「直す」ことによるメリット、つまり100%理想とする形できれいになると想像されるのですが、実は「直す」ことによってデメリットもありますし、人によってはそのまま手を入れない方がいいのではないかと方もいます。

ですので、そのメリット・デメリットをお伝えしつつ当社で考えられるベストなご提案をさせていただき、最終的にはお客様にご判断いただくこととなります。経験が少ない私には、このゴールまでの道のりに時間がかかってしまいまして、まだまだ難しいところです。

ストレスを感じた時の解消方法

・平日は、毎日のお昼休憩はしっかりとるようにしています。午前にあったことを午後にはひきずらないということもありますが、行ったことのないお店を見つけて入ってみるとか、単純にいろんなお店に入るのが楽しみです。おなかすくと、仕事できないです(笑)

・休日はドライブなどで、気分転換に外に出かけていくのが好きです。あとウィンドウショッピングも好きです。頭の中から仕事のことが消え、欲しいものでいっぱい満たされるので、気持ちが切り替わるので好きです。

・切り替えを上手にしっかりすることで、例え悪いことがあったとしても、くよくよ悩んでいるのではなく、ポジティブに次に自分がやらなければならないことは何かを考えるようにしています



チャレンジしてみたいこと

・前職がリフォームをやっていたので、リフォーム受注につながるようなご提案を積極的にしていきたいです。実は、先日初めてのお客様のお宅に訪問したところ、なんか来たことあるなと思っていたら、前職でリフォーム担当した隣のお宅だったというニアミスがありました。ちょっと冷や汗ものですが、もし偶然にもお見かけすることがあれば、改めて名刺をお渡しして『お困りごとはないですか？今度は是非当社(積水ハウス)でリフォームしましょう！』ってお誘いしてみます(笑)

・プライベートでは、スポーツをずっとやってきたので、今は楽器をやってみよう！と思って、休みの日はアコースティックギターを弾いています。絶賛、チャレンジ中です！

今後の目標

・お客様のお宅に伺った際に、「女性の方が来てくれて話しやすくてよかった」といっていただけることあるので、そうっていただけると嬉しいです、自分の強みでもあると思っています。お客様から「ありがとう」と言ってもらえる仕事をするので、自分自身もうれしいですし、とてもやりがいを感じると思っています。ですので、そうっていただけることが増えていくといいなと思っています。そのためにも今は覚えることがたくさんあって、まだまだ経験も不足しているのですが、目標としては経験を積んでいくことで「判断するまでのスピード感」を改善していきたいです。

この仕事をしようと考えられている方へのメッセージ

・今まで男性しかいなかった部署に初めて女性が入るので、最初は不安でした。でもその不安は自分だけではなく、受け入れる側も若干ですが身構えているのは感じました。お客様も同様なところはありますが、お優しいお客様ですと高いところは手伝っていただけることもあります。

・実際に仕事をしてみて思うのは、思っていたほど『女性だから』といった扱いもされないですし、お客様も理解のある方々の多い層だと思いますので、安心してください。

不安もあるかもしれませんが、やってみなければわからないので、やってみましょう!(笑)

飯田 こずえさん

大和ハウス工業(株) 南関東支社 住宅お客様相談室 川崎センター



【経歴など】

この仕事を始めて3年目(前職はケーキ屋さん)
6ヶ月、1年、2年の点検業務と、点検の際に対応し
きれなかったお直し(業者やメーカーに手配して再訪
問)までを対応します。また、コールセンターのお電話
いただいたお申し出の現場調査に訪問したり、他の
スタッフに同行することも多いです。

この仕事に就いたきっかけ

- ・コロナ禍になって雇用契約が切れて新たに仕事探しをすることになり、住宅に関する仕事をしてみたいと思い、ポリテクセンターで住環境技術科の訓練を受けました。その時に戸建住宅のアフターサービスは60年間続くことを知り、一生続けられる仕事だなあと感じ、この仕事を選びました。
- ・ポリテクセンターで一緒に訓練した方々とグループLINEができてたりし、同期会があったり、就職後も情報交換をしています。指導員の方ともメールをしたり、修了後も仲間として繋がっています。

クレーム対応などでお客様への対応が難しいと感じること

- ・お客様のタイプによって対応を変えるようにしています。例えば、「おい」「おまえ」といったお声がけをいただく場合もありますが、そこは真正面から受け止めずに流すようにしています。ですが、おとなしいお客様の場合の方が難しく、「おかしいですねえ」とつぶやくように言い続ける方とかがある一定量いらっちゃって、何かこちら側の反応を求められていると思うのですが、なんと答えるのが正解なのかわからず、、、悩んでしまいます。

女性のホームドクターとして、苦勞すること

- ・やはり重い扉を一人で持つとかは、正直つらい時もあるんですけど、そういう時は一緒に働く男性のホームドクターや業者の方をお願いして手伝ってもらっています。
- ・よかったのは、お手伝いをお願いするのがギブ&テイクになるように、「HEMSとか覚えて、役割分担していかない?」とやっていただけだったので、頑張っただけで覚えて答えられるようにしています。

お客様に喜ばれてうれしかったこと

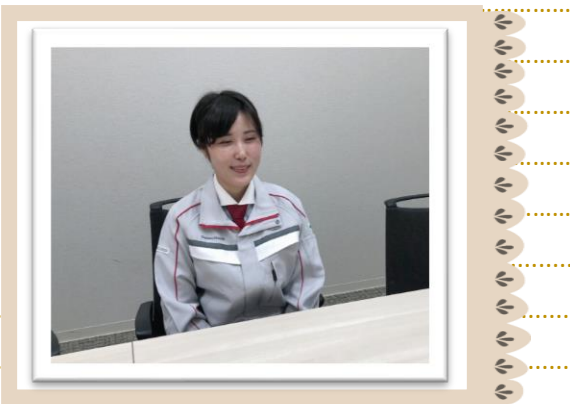
- ・前回点検でお伺いしたお客様が私を覚えて下さってご指名をいただくことがあります。それ以外にも、コールセンターに入電のあったお困りごとの対応で訪問することがあります。その対応後に、「点検もあなたが来てもらえないですか?」とってもらえたことがあり、とてもうれしかったです。

ストレスを感じた時の解消方法

・事務所に戻った時に「今日こんなことがあったんだけど」といった話をスタッフ間ですることで、大部分は解消されますね。

・嫌なことがあっても今日は頑張れた！と思った時は、自分へのご褒美としてコンビニのから揚げを買って食べます！（笑）

相当食べ比べているので、目隠しテストしてもコンビニ名を当てられる自信があります。どれだけ食べてるかは内緒です（笑）



この仕事のやりがい

・お客様から受けたご相談を解決するのは、まるでパズルを解くような感覚で楽しいですし、毎日新しい発見に出会えるのもこの仕事の魅力だと思っています。

・点検の前に、まずはお電話でご挨拶をして、当日の流れなどをご説明するのですが、一通りご説明した後に「私がお伺いします」とお伝えすると、「コールセンターのオペレーターだと思っていた」とか、「前は男性だったのに？」と言われることもあります。ですが、実際の点検にはご満足いただけているようで、アンケートの結果を見ると、最近は少しずつではありますが満足度が上向きになっていますし、担当者としてお褒めの言葉をいただくと「この仕事を選んでよかった」と思い、やりがいに繋がっています。

お客様と接する際に心掛けていること

・アフターサービスの仕事はお客様とどれだけ近くなれるかが大事だと思うので、普段からお客様だけではなくすべての方に対して、率先して挨拶をするようにしています。

・前職で「口角をあげて話してないと、その声は笑声に聞こえないよ」と教えていただいたので、お客様とお話する時には、常に口角をあげて話しています。例えマスクをしている時でも（笑）

・玄関では、きちんと靴を揃えるようにしています。実は失敗から得た教訓なんですけど、業者など一緒に同行した方の靴も、気づいたら揃えるようにしています。

将来の夢

・私はポリテクセンターに通っていた時に家を建て上げる訓練をしていたのと、チームワークで仕事をするのが好きなので、工事監督をやりたいです。

ポリテクセンター

って、どんなところ？

・ポリテクセンター（職業能力開発促進センター）は「ものづくり分野」を中心に、国が担う公共職業訓練を実施する施設です。

・雇用保険を受給しているハローワーク求職者を対象に、離職者訓練や高度な在職者訓練を実施しています。（令和3年4月現在、全国63か所に設置されています。）



余田 美智子さん

ミサワホーム(株) 埼玉・群馬CS推進部 埼玉お客様センター



【経歴など】

以前はデパートで接客を4年弱くらい、その後事務職に就きました。11年前、ミサワホームの男性ホームドクターがお客様から「男性に引き出しを開けられるのがイヤ」とお断りされた経験から、女性ホームドクターの募集があり、応募しました。ミサワホームで採用された「女性ホームドクター」第1号になります。

この仕事をする上で、大切にしていること

・第一印象を大事にしています。ご入居後のすべての点検を担当してのですが、点検で訪問する前にお電話をすることから始まります。その際に、丁寧にお客様に点検内容をお伝えすること、ご質問にはハキハキとお答えすることを心がけています。

コールセンターのオペレーターと間違えられることもあって、「どなたがいらっしゃるの？」と聞かれて「私です」とお答えすると驚かれます(笑)

女性ホームドクターに対するお客様の反応

・「女性なんだ！」と喜んでくれる奥様もいらっしゃいますが、その反面「女性なの？」と不安そうな表情で見られることもあります。そのような時でも、点検をしながらご質問いただいたことに応じていくうちにご理解安心していただき、最後には「女性の方が話しやすくてよかった」と言っていております。

・やはり「住まいのことは、ご主人」と思っている奥様も多いので、基本的にはご主人の方に説明するようにしていますが、仲の良いご夫婦の場合には気まずくならないように、奥様にも同様にお声がけするようにしています。

・コールセンターに修理依頼が入った時に、気に入っていただいたお客様からご指名をいただくこともあるので、その場合には現場調査に伺うこともあります。

やりがいを感じたエピソード

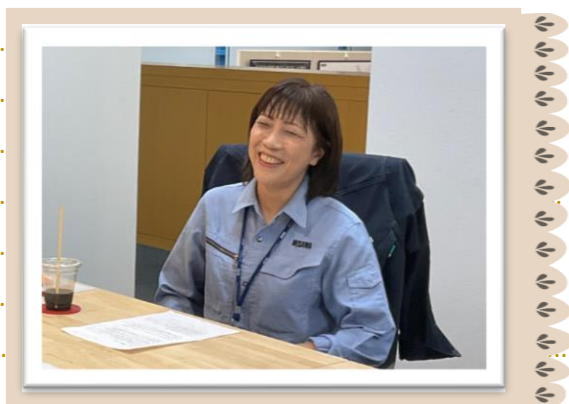
・先日、15年点検に伺ったお宅でのお話です。設計プランの問題でフラワーボックスの排水に支障が出ていたことが点検の際にわかり、ご入居当時からの問題だったので過去の担当者との協議して、感情的になられているお客様のお心を慮りながら、排水のお掃除などもさせていただき、私自身も会社のルールを理解しつつも上司に相談をし、その結果、排水の繋ぎ直しをすることができ、無事に不具合が解消されました。

お客様からも「長年の不安が解消されて、余田さんに相談してよかった、ありがとう」と感謝の言葉をいただき、有償メンテナンス工事の注文もいただくことができました。

ストレスを感じた時の解消方法

・休みの日には2人の孫と一緒にいると、目まぐるしく動き回るのであつという間に時間が過ぎますし、孫と遊んでいるだけで癒されますね。

・ストレスを解消するというよりは、ストレスを少なくするように心がけています。たとえ苦情であっても、原因特定・再発防止・早期に対応処理することを前提にお客様の身になって会話等を心掛けております。



点検の仕事で苦手なこと

・普段の点検では高所カメラで屋根の様子を見ていますが、先日足場をかけた現場でトップライトのメンテナンス後の仕上がりを確認する為に4寸5分の屋根に登ったのですが、怖くなってそのまま動けなくなってしまい、初めて高所恐怖症なんだと実感しました。

でも、実は数年前からずっとボルダリングをやりたいと思ってるんです。高いところから見下ろすのは怖いんですけど、『前を向いて後は振り返らない』のが性格的にもあっているかもしれませんね。

お客様へのアドバイスの仕方で心掛けていること

・おしつけるのではなく、「どうされますか？」と問いかけをしてお客様にご判断いただくようにしています。例えば、点検中に引き違い窓の動きが重たい箇所を見つけた時に、いきなり戸車調整をするのではなく、まずはお客様がその引き違い窓をどのように使われているかをお伺いするようにしています。さらに、戸車の調整で動きがスムーズになることをお伝えするのですが、一方で戸車をあげることによって風の強い日などに砂ぼこりが入りやすくなるかもしれないといったデメリットもお伝えしています。その上でお客様のご希望を伺ってから作業するようにしています。

・お客様それぞれの生活の仕方や住まれ方を見ながら、アドバイスするようにしています。例えば、外部排水を点検した時に2階の洗面の排水樹の中が乾いていることがあれば、室内に入ってから封水についてご説明し、たくさん水を流していただくようにアドバイスしています。

この仕事をしようと考えられている方へのメッセージ

・子供が成長して育児も終わったかな？という時に、子供の成長を横目で見ながら、おいてけぼりを感じ、さみしさを感じた瞬間があつたんですね。その頃にこの仕事にであつたのですが、この仕事は色々なお客様にお会いして、新しいことを常に吸収して自分自身をアップデートして、日々のモチベーション向上により、自分の成長が感じられて、いつまでも元気で若くいることができる仕事だと思えます。